



令和5年10月2日
目黒区第二上目黒保育園長

昼食の時間、2歳児クラスに行くと口元にご飯粒がついている子がいました。ご飯粒がついていることを知らせていると、もう一人同じようについている子がいます。その子にも知らせていると、また一人ついている子がいるのです。子どもたちの表情は“ニヤリ”と楽しそうです。“これはきっと真似しているんだな”と思い「あらあら、〇〇さんもついているよ」と子どもたちのご飯粒作戦に乗ってみることにしました。楽しいことを見つけたらすかさず真似て、一緒に大はしゃぎする2歳児らしさが存分に表れています。そんな中、最後の一口を食べ、すでに茶碗が空っぽの子がいました。ご飯粒作戦に参加したい様子ですが、つけるご飯がありません。どうするかなと見ていたら、口をモゴモゴさせてご飯粒を押し出し、前歯につけて“私も”と得意気です。「まあ、ここにもついている子がいた」と驚かせてみせると「ハハッ」と作戦大成功の笑顔でした。

2歳児が楽しそうにはしゃぐ姿からは、身近な人と気持ちが通じ合う喜びを友達との間でも感じられるようになっていることが伺えます。どの年齢、クラスの子どもたちも、安心できる保育士を拠点にしながら仲間と過ごす喜びをいつでも感じられるように、心の育ちにしっかり目を向け援助していきたいと思う毎日です。

暑かった夏が過ぎ去り、戸外遊びが再開しています。隣の児童遊園に向かう子どもたちが「きょうは とてもすずしいですね」と大人びた言葉を言いながら出掛けていきました。「とても涼しいですね。行ってらっしゃい」と丁寧に返し、季節の移り変わり子どもたちの成長を重ねながら後ろ姿を見送りました。



運動会（2～5歳児クラス）
お楽しみ会（全園児）
いも掘り遠足（4・5歳児クラス）

中旬 身体計測・避難訓練

見て、感じて、広がる子どもの世界

0歳児クラス（つぼみ組）

保育士の膝に座って動物の絵本を見ていると、描かれているゾウを指差したあと、モビールのゾウを指差して同じだと教えてくれます。カンガルーを見た時は、保育士が身に着けているエプロンのポケットとお腹の袋が「同じだねえ」と一緒に笑顔になりました。何でも“同じ”であることが嬉しいようです。

絵本を通じて発見したことや喜びに共感してもらい、保育士とのやり取りを楽しみながら心地よい気持ちで絵本に触れていきます。



1歳児クラス（ちゅうりっぷ組）

『だるまさんが』という絵本の中の言葉や音の繰り返しを楽しんでいます。子どもたちのお気に入り「だるまさんが…どてっ」とだるまさんが転ぶ場面です。遊んでいてバランスを崩し尻もちをついた子が「どてっ」と言うと、周りの子たちも「どてっ」とおどけてみせることで、転んだ子は痛さも忘れて笑顔になります。

子どもたちの生活の中に絵本があることによって、皆で一緒に笑い合うことが出来ます。

跳んで・走って・みんなで楽しむ秋

2歳児クラス（たんぽぽ組）

『むっくりくまさん』という追いかけて遊びが好きで、皆で楽しむことができました。「むっくりくまさんおーきーて」の声で親熊が目覚めると「うわ〜」「逃げろ〜」と子熊役の子どもたちは思い切り走り、追いかけることを楽しんでいます。室内では、腕の支持力と体幹を使って背丈ほどの巧技台をよじ登ったり、バランスを取りながら一本橋を渡ったりして様々な動きに挑戦しています。ある時は運転手、ある時はお店屋さんで物語の主人公になったり動物になったりして、イメージを膨らませながら楽しんでいます。



3歳児クラス（さくら組）

散歩先で消防車に乗せてもらったことで優しく格好いい消防士さんへの憧れの気持ちが高まり、訓練のイメージで運動遊びを楽しんでいます。ロープを渡るようにビーム（一本橋）を抱きかかえ、腕に力を入れて前進したり、燃え盛る炎に向かっていくイメージで、立ち足はだかる障害物を乗り越えたりしています。ゆっくり進んでいる友達がいると「やけどしちゃうよ」と心配したり励ましたりしています。

楽しみながら体の様々な部位を意識して動かすことで“ちょっと難しい”と感じていた動きが出来るようになり“やってみたら面白い”という前向きな気持ちで取り組んでいます。



4歳児クラス（すみれ組）

「ちちんぷいぷいのぷい」と呪文を唱え、魔法の世界のイメージ色の子どもたちです。バルーン遊びでは「みんなの魔法で大きくふくらまそう」と力を合わせ、空気を含んで膨らんだり不規則に波打つ布の動きを楽しんでいます。「山」と名付けたバルーンの形を作る時、初めは思うように膨らまなかったのですが、気持ちを一つに掛け声とともに布を上下させることで、やがて子どもたちの背丈よりも大きく膨らむようになりました。子どもたちからも「やったね」「みんなで一緒にやったからだね」と喜びの声が上がり、友達と一緒に力を合わせる楽しさや体を動かす心地よさを感じられたようです。



5歳児クラス（ひまわり組）

運動会でやりたい事を話し合うと「縄跳び。大縄とダブルダッチも」「かけっこ」「リレー」「絶対に太鼓」「ソーラン節もいいよね」と様々です。中でも希望が多かったのは縄跳びですが、初めのうちは縄を回せなかったり、タイミングが難しく簡単に跳ぶことが出来なかったりしてあきらめそうになることもありました。そんな時「もっと高くジャンプしてごらん」「そう、いいよ」と励まし、成功と一緒に喜んでくれる友達の存在に支えられ、毎日取り組むうちに二人跳びやダブルダッチなど、様々な跳び方が出来るようになりました。進級当初から踊ってきたソーラン節は、どこの地方でどんな時に踊られている民舞なのか学び、由来を知ることによって「この動きは舟をこいでいるんだよね」とイメージが湧き、ニシン漁の様子と結び付けて表現しようとしています。

どの競技も「ひまわり組だからできるよ」「かっこよくやりたい」と目標を持ち、運動会で披露することも楽しみにしながら取り組んでいます。